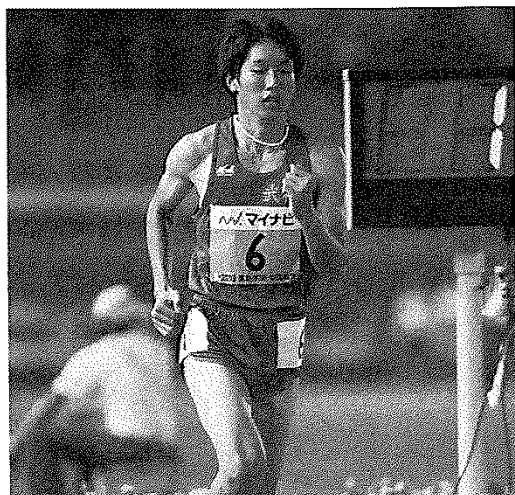


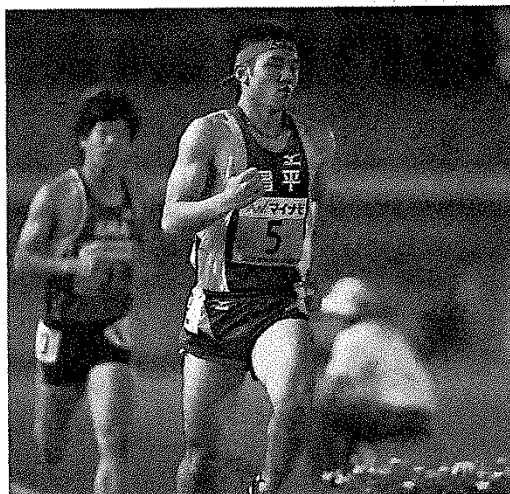
八種競技

泉谷、北村を中心に 南関東勢がハイレベル

文／新甫條利子
写真／椀本結城



泉谷駿介（武相高3年・神奈川）



北村一真（昌平高3年・埼玉）

県新人で5681点（高2歴代4位）をマークした泉谷駿介（武相高3年・神奈川）と、前回のインターハイ5位の北村一真（昌平高3年・埼玉）を中心に繰り広げられそうだ。北村は全国選抜でも3位に入っており、実績面ではナンバーワン。ハードルを軸にしながら、そつなく得点を稼げる北村に対し、泉谷はスピードと走高跳で2m超え、三段跳リストトップなどバネが武器だが、投てき種目が課題となる。ここに、インターハイ8位で泉谷と同じ武相高3年の原口凜や、全国選抜5位の明石宗一郎（市西京高3年・京都）らが上位争いに加わってくるだろう。去年はインターハイ路線に出場しなかったが、3月に5463点をマークした今岡海斗（大阪桐蔭高3年・大阪）も狙ってくるか。

また、武相高の2人だけでなく、全国選抜12位の雨宮大樹（柏陽高3年・神奈川）や、自己ベスト5250点の米山蓮太郎（希望ヶ丘高3年・神奈川）らがしのぎを削る神奈川県大会は注目だ。去年のインターハイは記録を残せなかったが、加藤舜涼（城東高3年・東京）も南関東大会で対決することになり、今年もハイレベルな全国の出場権争いになりそうだ。

2016～2017ベスト記録トップ10

順	記録	選手	所属	現学年	樹立年月日
1	5681点	泉谷 駿介	神奈川・武相高	3	2016年 9月17日
2	5548点	北村 一真	埼 玉・昌平高	3	2016年 7月30日
3	5495点	明石宗一郎	京 都・市西京高	3	2017年 5月 4日
4	5463点	今岡 海斗	大 阪・大阪桐蔭高	3	2017年 3月19日
5	5431点	原口 凜	神奈川・武相高	3	2016年11月12日
6	5387点	加藤 舜涼	東 京・城東高	3	2016年 6月18日
7	5377点	山下 朋紀	岡 山・金光学園高	2	2017年 4月 9日
8	5297点	雨宮 大樹	神奈川・柏陽高	3	2016年 9月17日
9	5250点	米山蓮太郎	神奈川・希望ヶ丘高	3	2016年 5月14日
10	5207点	岩切 魁人	宮 崎・延岡商高	3	2016年 6月17日
10	5202点	富田 健人	埼 玉・本庄一高	3	2017年 4月21日

※2016年4月1日～2017年5月8日判明分のデータを集計